

〈報告〉協会学術研究会

整形外科領域の超音波検査について

11 月 18 日、大宮ソニックシティにおいて、「整形外科領域の超音波検査について」というテーマで講演会を開催した。協会の研究会としては、初めての企画である。講師は群馬で開業している飯塚久晴氏（飯塚外科医院理事長）。

形外科領域でもレントゲン検査を補完、もしくは凌駕する画像診断が多岐にわたり可能になってきたことをふまえ、飯塚氏による講演と実際にエコー器械を使つての実技指導（ハンドオン）を解説した。当日の参加者は 35 人（医師 18 人・検査技師 17 人）。以下、当日の講演内容のスライドを一部掲載する。



実際にエコー機器を使った実技指導

肩腱板断裂 ①

棘上筋腱損傷 完全断裂

65歳女性 数年前より右肩を動かすと音が鳴るとのこと来院。疼痛なし

縦断面 横断面

股関節乳児検診 ②

4 か月検診 側面より観察

異物 ③

22歳男性 2週前に左中指基節骨部に木の棒をさす圧痛あり

腫瘍 ガングリオン 関節由来 ④

63歳女性 右手関節背側に有痛性腫瘍あり来院

腫瘍 アテローム ⑤

63歳男性 右前腕に腫瘍あり有痛性局麻にて切除、切割して診断

骨端線離解 ⑥

10歳女児 転倒にて受傷